

社会を明るくする運動

7月2日、「社会を明るくする運動」を広く周知するため、大島保護区保護司会と大島地区更生保護女性会が中心となり、町内をパレードし街頭宣伝を行うとともに、各庁舎で内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深める全国的な運動です。7月は運動の強化月間となっております。各地でキャンペーンが行われました。

農業を基盤に生活を



▶(前列左から) 中元さん、椎木町長、大野さん、林さん、(後列左から) 浜田さん、藤本さん、中本さん、宮本さん

7月20日、大島庁舎において青年等就業計画等承認通知書授与式が行われ、町長から承認通知書および記念品が授与されました。今回通知を受け取ったのは、今年4月から柑橘栽培で新規就業された浜田尚孝さんと、中本圭さんの2名で、国の交付金などを財源に資金が交付されます。

この日は他に、新規就業された宮本平さん、林敦輝さんと大野丈さん、来年度以降に新規就業をするため、大島農業担い手就業支援事業により山口大島農業協同組合で研修をしている藤本忠さんと中元悠さんを交えて意見交換会が行われました。



▲大島庁舎では保護司会の新山会長から岡村副町長にメッセージが伝達されました

地域おこし協力隊員 山崎千寿のしましまタイムズ

SHIMASHIMA TIMES

31

周防大島町定住促進協議会

☎0820 (74) 1007

晴れたある一日、未踏の地であった前島へクルージングに行ってきた。

まず、久賀の観光協会で渡船のチケットを購入。チケット売り場においてある前島航路のパフレットを入手したら前島の情報とスナメリの探し方のポイントの頭に入れます。そして渡船乗り場へ移動し、船長さんから受け取ったライフジャケットを着用したら出航です。

徐々に大きくなっていく前島を感じつつ、船から見る大島大橋やいつもの周防大島を外側から眺めながら約20分で前島に到着しました。前島滞在時間はたったの5分。待合所でスタンプを押し、波止場から魚を見ていたらすぐに出航の時刻になってしまいました。この日は風がありコンディションが良くなかったこともあってか、スナメリに会うことはで

きませんでした。遭遇の確率が高いのは餌になるイワシが多い5月から10月ごろだそうです。

今回は慌ただしい行程でしたが、お弁当を持って11時20分久賀発の便で上陸し、16時25分前島発で帰って来るといいう、のんびりコースにすればちよつとした旅に出た気分になれるかもしれません。久賀からほんの少し足を伸ばさず気軽なクルージング、みなさんもいかがですか。

さて、次回の海掃除は9月2日(日)午前9時から久賀ビーチ玉海岸で行います。朝から海掃除をして気持ちのよい1日のスタートをきりましょう！



▲前島渡船と前島で押したスナメリの記念スタンプ